

協議第 10 号

## 新市の名称について

新市の名称について、次のとおり提案する。

平成 15 年 7 月 31 日提出

八日市市・永源寺町・五個荘町・  
愛東町・湖東町合併協議会  
会 長 中 村 功 一

記

新市の名称を決定する方針は次のとおりとする。

- 1 . 既存の名称を使わず、新市にふさわしい新たな名称を検討する。
- 2 . 住民が参加できるように、名称の公募を行う。
- 3 . 協議会規約第 12 条に基づく小委員会を設置し、募集要項、選定方針等を定め、候補となる名称の選定等を行う。

協議事項	新市の名称について	協定項目 No.	3
<p style="text-align: center;"><b>留意事項</b></p> <p>(先進地事例から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>従来は、合併関係市町村の名称の一部を単純に組み合わせた例が多かった。</li> <li>最近ではその地域の歴史や文化、地理的条件を考慮し名称を選択することが多くなった。</li> <li>合併後の住民の一体感を醸成しやすく、新市への愛着を持ってもらいやすくするため、住民からの公募を行っているところが多数となっている。</li> <li>既存の名称を使用することにより、合併協議が難航したり、協議会が解散している例が多い。</li> </ul> <p>(新市の名称として使用しない既存名称)</p> <p>八日市市、永源寺市、五個荘市、愛東市、湖東市</p>	<p style="text-align: center;"><b>先進事例</b></p> <p><b>あきる野市</b></p> <p>合併協議会最大の難関であった。旧秋川市の委員から、「秋川の名前も捨てるから、五日市町も五日市の名称にこだわらずに話し合いを進めよう。」という提案がされたが五日市側はあくまで五日市の名称にこだわる姿勢があったため、なかなか決まらない状況であった。</p> <p>小委員会において住民アンケート、東京都知事一任等の案が提案されたが、合併協議会で決めないと住民の理解が得られないということから、結局意見の一致をみずに小委員会は解散。最終的には、両首長の協議により地域の歴史的名称の由来から「あきる野市」が選ばれた。</p> <p><b>東かがわ市</b></p> <p>新市の名称は、一般公募を行い、応募された作品の中から小委員会で10点の候補作品を選定し、さらに協議会において3点に絞込みを行った。</p> <p>3点に絞られた讃東、東かがわ、東瀬戸について再度協議会の場で全委員から意見を求められ多くの委員が支持した東かがわを委員全員の拍手を持って確認された。</p> <p><b>高島地域合併協議会</b></p> <p>新市の名称は、住民公募の後、新市名称・財産小委員会で候補名を選定した後、協議会で決定することとされた。</p> <p>小委員会において、近江湖西市、近江高島市、高島市、西近江市、西びわこ市の5点を選定された。協議会で会長を含む委員全員で無記名による投票が行われ、1回目の投票で確認されていた2/3の得票を得た名称がなく、上位得票2作品による決選投票の結果、過半数以上の得票を得た西近江市に決定された。</p> <p><b>彦根市、豊郷町、甲良町、多賀町合併協議会</b></p> <p>新市の名称は、現在の市町の名前以外で、新市にふさわしい名称を公募した後、小委員会で数点を選定する。</p> <p>その後小委員会で選定された候補名称に既存の各市町の名称を加えた10点程度の新市名称候補により住民アンケートを行い、その結果を協議会に報告し協議した上で決定。</p>		

協議事項	新市の名称について				協定項目 No .	3
1	市 4 町 の 状 況					
八日市市	永源寺町	五箇荘町	愛東町	湖東町		
<p>(経過)</p> <p>明治4年以来、地方自治制度の変遷に幾多の形態を経てきたが、昭和29年3月21日神崎郡八日市町と近隣の蒲生郡中野村が合併、さらに同年8月15日蒲生郡平田村、市辺村、玉緒村、神崎郡御園村、建部村と合併、県内5番目の市制を施行した。</p> <p>(名称の由来)</p> <p>八日市の名は、聖徳太子が大坂四天王寺建立のための瓦を箕作山山麓で造らせ、各地から集まった人々に交易の道を教え、以来「八」の日に市が開かれたことによるものと伝えられています。</p>	<p>(経過)</p> <p>従来、蒲生郡、神崎郡、愛知郡の各郡に属し、区画を異にしていたが、神崎郡山上村と愛知郡東小椋村及び高野村が、昭和18年に合併して神崎郡永源寺村となり昭和28年町村合併促進法が公布されたのを機会に、県から蒲生郡市原村との合併計画が公表され、昭和30年4月1日に両村が合併して「永源寺町」が誕生した。</p> <p>(名称の由来)</p> <p>臨済宗永源寺派本山瑞石山永源寺の所在地にちなみつけられました。南北朝時代の康安元年(1361年)近江国の領守佐々木氏頼が、この地に伽藍を建て、寂室元光禅師を迎えて開山され瑞石山永源寺と称しました。</p>	<p>(経過)</p> <p>明治22年町村制施行により山本村他8村が東五箇荘村、金堂村他6村が南五箇荘村、宮荘村他6村が北五箇荘村となり、同23年東五箇荘村が旭村と改称した。昭和28年町村合併促進法が公布されると、3ヶ村で町村合併促進協議会を設け、昭和30年1月1日に3ヶ村と安土町清水鼻が安土町から分離して合併、新しく五箇荘町が誕生した。</p> <p>(名称の由来)</p> <p>中世の荘園時代、<sup>かんのんじやま</sup>皴山(観音寺山)の東麓の底平な一帯には、南庄・北庄・東庄・橋爪庄・新八里庄の主要な5庄があり、「山前庄」と呼ばれていました。その「山前の庄」の別称が「五箇庄」であり、「山前五箇庄」などとも呼ばれました。現在の五箇荘の町名の由来はそこからきてるとされています。</p>	<p>(経過)</p> <p>明治6年の区政、明治18年の連合戸長役場制を経て、明治22年の町村制施行により角井村、西小椋村が生まれ、昭和30年2月11日、昭和の大合併で2村が合併し「愛東町」が発足。昭和46年2月11日「愛東町」に改称。</p> <p>(名称の由来)</p> <p>愛知郡は6世紀ごろに渡来系民族である依智秦氏<sup>えち はたし</sup>がもたらした治水技術により愛知川の豊富な水を源として開拓され、愛知川を共通の水源とする神崎郡についても弥生時代から古墳時代にかけて集落が形成され共に発展してきた。当町はこの愛知郡の東に位置することから昭和30年の角井村、西小椋村合併に際し新村の名を「愛東村」と称した。</p>	<p>(経過)</p> <p>明治22年の町村制施行により、関係する30村が「東押立村」「西押立村」「豊椋村」として統合され、旧3村が成立した。昭和28年の町村合併促進法の施行を機会に、昭和29年11月3日にこの3村が合併して「湖東町」が発足した。</p> <p>(名称の由来)</p> <p>湖東町域は、文字どおり琵琶湖の東部、湖東平野の中心に位置するとともに、旧の「東押立村」「西押立村」「豊椋村」においては昭和23年10月に「組合立湖東中学校」を設立以来、「湖東」が関係住民の最も希望する名称として浸透し、昭和29年の合併に伴い「湖東町」の名称が誕生した。</p>		

協議第32号

## 新市の名称について

新市の名称について、次のとおり提案する。

平成15年10月30日提出

八日市市・永源寺町・五個荘町・  
愛東町・湖東町合併協議会  
会長 中村 功一

記

新市の名称は 東近江市とする。

# 新市名称候補 5 作品一覧表

新市名称候補	選考理由
あかね市	<ul style="list-style-type: none"> <li>万葉集に歌われている「あかねさす・・・(相聞歌)」はこの地域が舞台となっており、知名度がある。</li> <li>歴史的ロマン漂うこの地域に馴染む名前である。</li> <li>ひらがな三文字は親しみや優しさを感じる。また母音で始まる呼びやすさがある。</li> <li>希望に向かって発展する、健康で明るいまちを想像できる。</li> <li>自然、景観、文化、歴史、住民活動などをイメージできる。</li> </ul>
神愛市	<ul style="list-style-type: none"> <li>八日市市を含む旧神崎郡と旧愛知郡の合併であり、それぞれから頭文字をとった名称である。</li> <li>1市4町に共通する愛知川がイメージでき、「神」「愛」が新市名としてふさわしい言葉。</li> <li>将来の発展と融合した意味を感じる。</li> <li>八日市高校の前身は神愛高校であり、地域に知名度や愛着がある。</li> </ul>
東近江市	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔から近江の国といわれ、滋賀の別呼称としてその知名度は高く、1市4町は、その近江の国の東部に位置し、地理的にも分かりやすい。</li> <li>近江商人発祥の地をはじめ、この地域の様々な歴史や文化をイメージできる。</li> <li>今日、東近江は、行政圏域をはじめ対外的にも広く使用され、知名度が高く、またなれ親しんだ名称でもある。</li> <li>将来の滋賀県の中核都市にふさわしい。</li> <li>住民参加のまちづくりとしての立場から、最も応募が多かった名称である。</li> <li>親しみのもてる名称と考え、合併後近江の東に位置し、緑あふれる自然豊かなまちとして発展が期待できる。</li> </ul>
東びわこ市	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本を代表し、かつ全国的に知名度も高い琵琶湖の東に位置している。</li> <li>琵琶湖の東と云えば全国に分かりやすく、地理的に判断しやすい。</li> <li>今後知名度の向上につながるものである。</li> <li>琵琶湖の漢字は難しく、平仮名の方が書きやすく、またやわらか味があってよい。</li> <li>滋賀県を代表する都市名称でもある。</li> </ul>
みどり市	<ul style="list-style-type: none"> <li>鈴鹿の山々を連想できる。</li> <li>1市4町共に、共通して緑が多い。</li> <li>人と自然が共生する地域、またまちづくりをイメージできる。</li> <li>みどり色は豊かなイメージも想像する。親しみやすく柔らかな感じがする。</li> <li>木々がしっかりと大地に根を張りたくましく、大きく育っていくように、新市への思いを込めて。</li> <li>愛知川の清流の恵み、豊かな自然と高い文化を生かし、滋賀県(びわこ)東部の美しいモデル地域として伸び行くまちを願う。</li> </ul>

## 新市の名称について

### 第1回投票

No	名 称	投票数
1	あ かね 市	28票
2	神 愛 市	19票
3	東 近 江 市	35票
4	東 び わ こ 市	13票
5	み どり 市	13票
無 効 票		0票

### 第2回投票

No	名 称	投票数
1	あ かね 市	34票
2	神 愛 市	9票
3	東 近 江 市	29票
無 効 票		0票

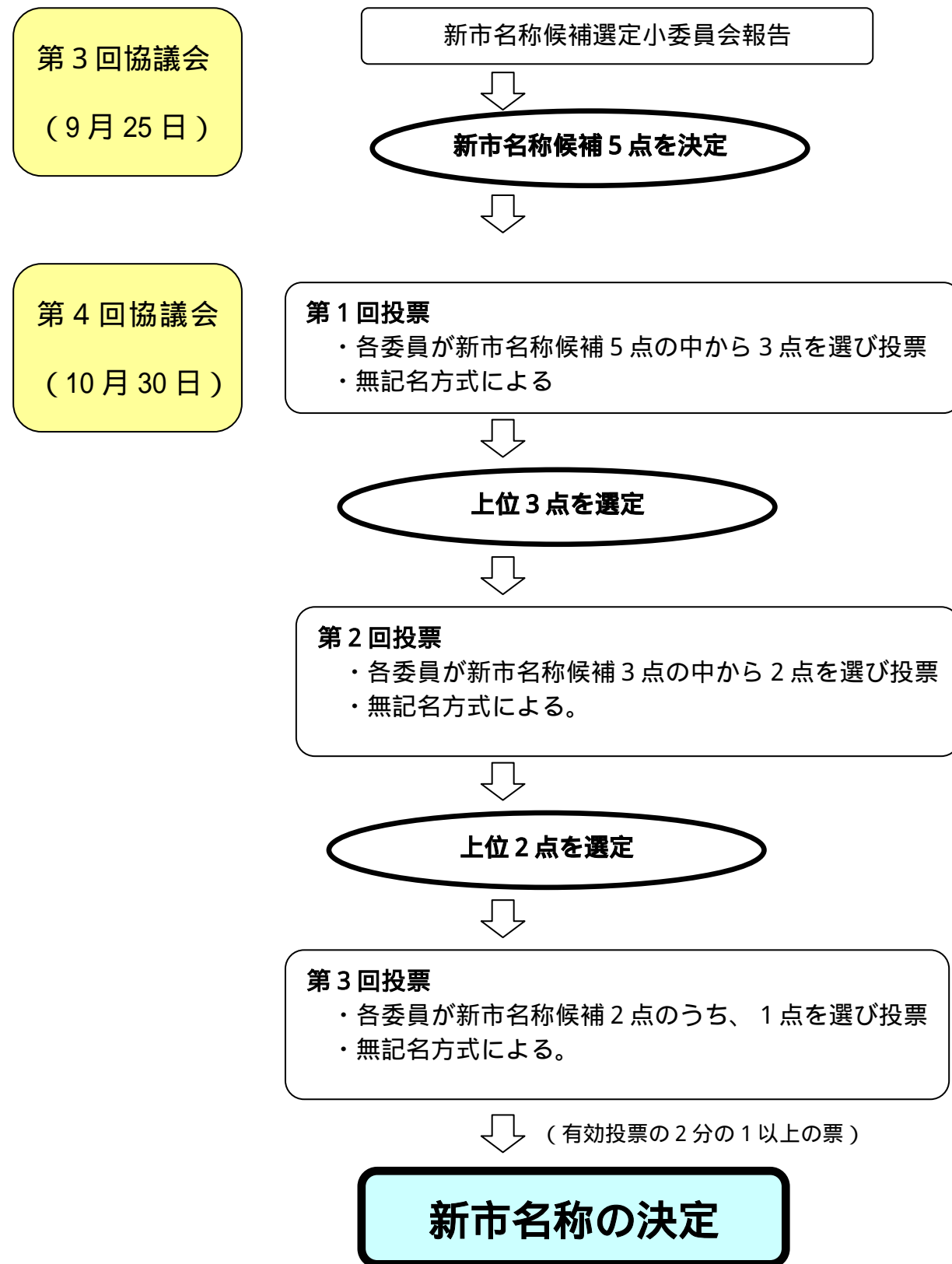
### 第3回投票

No	名 称	投票数
1	あ かね 市	14票
2	東 近 江 市	22票
無 効 票		0票

### 最終投票結果

新市の名称 **東近江市** に決定

## 新市名称最終決定方法



## 新市名称選定の投票及び開票の進め方

### 1. 投票方法

#### (1) 投票用紙

- ア) 第 1 回投票
- ・ 5 点の候補名称を記載した投票用紙とする。
  - ・ 5 点の候補名称から 3 点を選び、印を付ける様式とする。
  - ・ 氏名は、無記名方式とする。
- イ) 第 2 回投票
- ・ 2 点の名称を記述する投票用紙とする。
  - ・ 氏名は、無記名方式とする。
- ウ) 第 3 回投票
- ・ 1 点の名称を記述する投票用紙とする。
  - ・ 氏名は、無記名方式とする。

(2) 記載場所 各委員の自席で記載する。

(3) 投票場所 首長 5 名の前に投票箱を設置する。

#### (4) 投票

- ・ 投票前に事務局職員が投票箱を持ち上げ、委員に空虚を確認する。
- ・ 投票は、事務局が読み上げる委員から、順次投票を行う。

### 2. 開票方法

#### (1) 開票管理・立会者

宮部湖東町長（会長職務代理者）及び西田委員（滋賀県東近江地域振興局長）

#### (2) 開票場所

- ・ 開票管理・立会者席の後部に、開票機を設置する。
- ・ 開票管理・立会者のもとで、事務局職員が開票を行う。

#### (3) 開票結果の発表

開票管理・立会者が開票結果を確認の上、開票管理・立会者（西田委員）が結果発表を行う。

#### (4) 無効について

決められた点数を選ばなかった投票用紙は、すべて無効とする。

### 3. 投票権

名称の投票については、首長も含めた全委員とする。